

放課後児童クラブに係る「量の見込」と「供給計画」について

■需要量（見込み）の算出について

1、登録児童予定数

放課後児童クラブの需要量については、平成 25 年 1 1 月実施の全小学生を対象としたニーズ調査結果のうち、留守家庭児童の中で、次の児童の総数を先に算出した人口推計（6 歳～11 歳）による対象児童総数によって換算し、年度ごとの登録児童予定数を見込む。

- ① 現在児童クラブを利用している児童
- ② 利用したいが、近所に児童クラブがない、あるいは児童クラブに空きがないので利用できない児童
- ③ 経済的理由で利用できない児童のうち、1・2 年生および 3・4 年生の半数（5・6 年生は算入しない）

なお、③については、児童クラブは基本的には有料であることから、顕在的な需要とまでは言えないが、今後家庭環境の変化等により利用の可能性がある潜在的需要と判断し、一般的に児童クラブの利用が高い 1・2 年生については全数、3・4 年生については半数を算入した。

◇年度別登録児童予定数

(単位:人)

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
需要量	2,657	2,659	2,670	2,698	2,694	2,686

2、支援の単位における「児童の数」について

国から示された「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準について」において、

『支援の単位を構成する「児童の数」とは、毎日利用する児童（継続して利用することを前提に申し込みをした児童）に、一時的に利用する児童（塾や習い事等により週のうち数日を利用することを前提に申し込みをした児童）の平均利用人数（登録時の希望）を加えた数』とされている。

ただし、本計画における支援の単位を構成する「児童の数」（需要量）の算出に当たっては、平成 25 年度実績における各クラブの 1 日の平均出席児童数を登録児童数で除し、小学校区ごとに集計したものを「利用率」とし、ニーズ調査をもとにした需要量に乗ずることで算出した。なお、「利用率」は小学校区ごとに算出したもののうち、最も高いもの（山手小学校区：82.7%）を採用した。

◇年度別児童予定数(全体)

(単位:人)

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
需要量	2,657	2,659	2,670	2,698	2,694	2,686
児童の数	-	2,222	2,233	2,256	2,252	2,246

■供給量の算出について

1、平成 26 年度供給量

放課後児童クラブの供給量については、平成 26 年 7 月 1 日現在の児童クラブの定員数を平成 26 年度供給量とする。

50 クラブ 合計 2,574 人

2、供給についての考え方

各年度の「児童の数」と供給量を比較し、その差が 10 人以上の校区を対象とし供給を行う。

供給の規模は、平成 31 年度までに発生する最大の供給不足を満たす数を供給する。